

カウントダウン その5

さあ、5カウントです。新入生合格者オリエンテーションです。

高月にも桜が咲きだしました。誰もいない学校に桜だけが日に日に花を開いていく光景は、9年前の4月の風景と同じです。あの時も、見えない放射能に人々の心が乱されて、遠い土地まで福島を離れて避難した人もいましたが、今回も見えない新型コロナという敵の前で右往左往している人類の姿があります。

時の流れを味方につけていくためには、目的をもって進むしかありません。最悪の状況を考え、少しでもそこから回避するための手段を構築するしか方法はありません。その手段を構築できれば、人は耐え忍ぶことができます。耐え忍ぶ勇気をもって、困難に打ち克つことができます。

とりあえず、新学期の授業再開が、最悪5月の連休後にずれ込んだとして、夏休みを授業日とすることや、冬休みを授業日とすることも視野に入れておかなければならないでしょう。また、この2か月間の時間の過ごし方が、大きな分岐点になることは明白ですので、3年生はセンター対策や大学別の赤本を手に入れ(例えばブックオフに過去の赤本は大量に売っている)、具体的な工程表を作って進めるのが良いでしょう。

私立の学校は、課外や授業を行っている場合もあるのだから、公立としてただ黙ってみているわけにはいきません。スタートダッシュがかぎとなりますので、最終的な到達点を見据え、地道に努力を続けるべきです。

2年生は、理科と社会の教科書をすべて読破しなさい。その際、何がわかって何がわからないかをきちんと整理してノートを作りなさい。また、英語・国語・数学において、得意分野と不得意分野を整理し、不得意分野を克服しなさい。

1年生は、すべての教科書と資料集を片っ端から目を通し、全体量を確認してから、予習をどんどん進めなさい。ノートの左半分を予習として使い、右半分を授業で使うというノートの使い方を自分のものにしてください。

英語は単語をどんどん覚え、数学は時間を限って自分の頭で解く訓練を重ねなさい。どちらも、全体の構造がわかると自学できるようになるので、その構築に勤めなさい。学校や塾の指示ばかりを待って学習することは、最後の最後に落とし穴にはまることのあるから、常に自分の頭で考え、自分の見解をまとめる訓練を積みなさい。

そして必ず一日1万歩をあるきなさい。歩いたらラジオ体操をきなさい。これだけでも身体のような筋力を落とすことはなくなります。健康な体と、前向きな精神をもって知的な作業を進めてください。

4月8日から学校が始まるように校長協会は全力を尽くしていきますが、そうならない状況になっても、対応する手立ては山ほどありますので、一人一人が自覚と責任を持って行動してください。我々の学校の校是は、『知性と責任』なのですから。